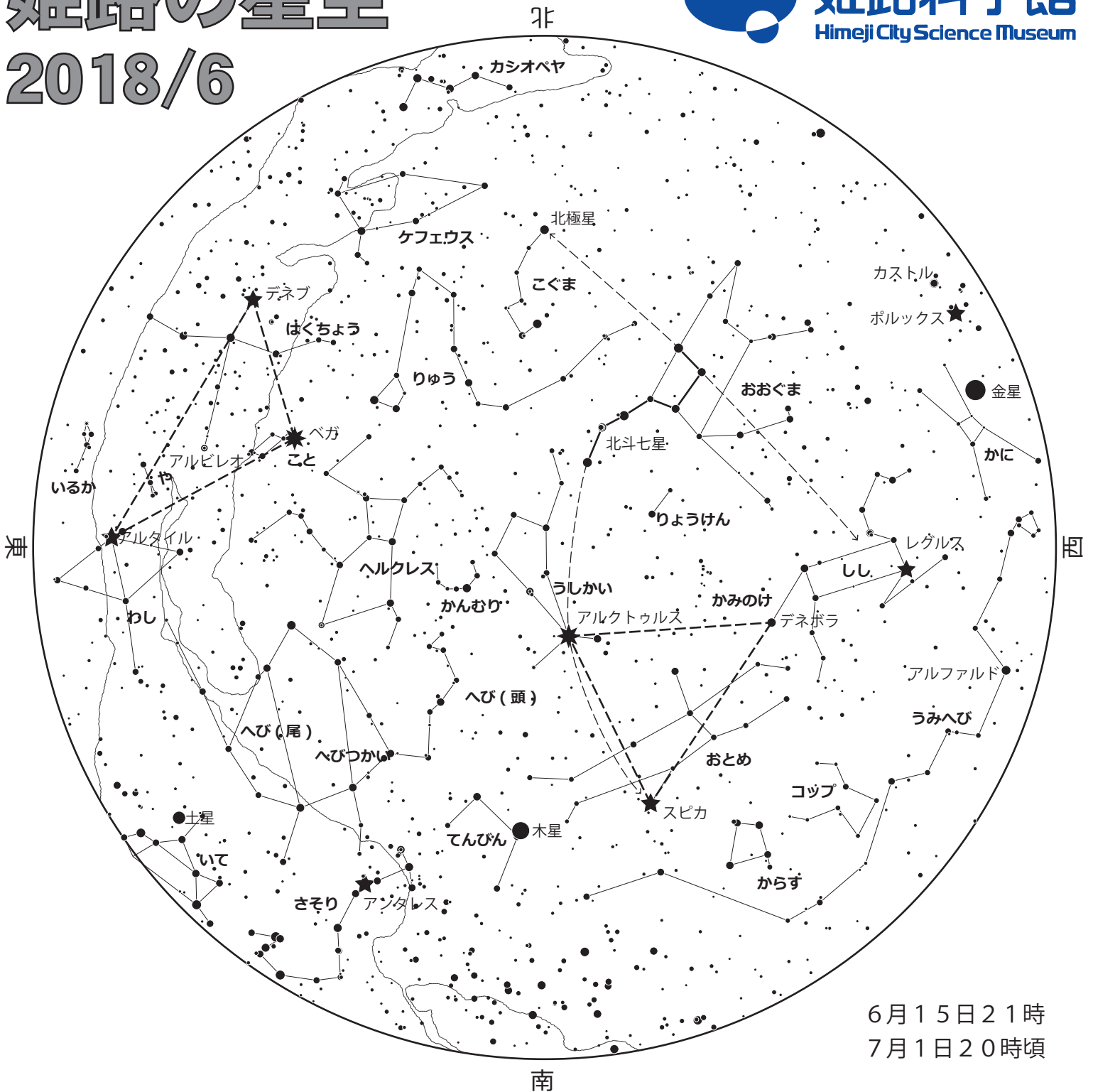


姫路の星空

2018/6



姫路科学館
Himeji City Science Museum



6月15日21時
7月1日20時頃

西の空の一番星は金星です。目のいい人は、日没の少し前に見つけられるかもしれません。同じ頃、南東の空には、木星も目立ちます。西側の見晴らしが悪いところだと、木星が一番星になるでしょう。遅くなると南東に土星が見えるようになります。土星の環は夏休みが見頃です。

空の西側は春の星座、東側には夏の星座が見えています。はじめに、北西の空高くにある北斗七星を探しましょう。北斗七星からは北極星やしし座が探せます。しし座の胸に輝く1等星はレグルス、しっぽの2等星はデネボラです。北斗七星は星座ではなく、**おおぐま座**の腰からしっぽの星たちです。クマのしっぽを伸ばした先、春の大曲線をたどると、**うしかい座**のアルクトゥルス、**おとめ座**のスピカが見つかります。デネボラと合わせて春の大三角を作ります。

南東の空には**さそり座**のアンタレス（南東）が見えます。土星の下が**いて座**です。東から北東の空には夏の**大三角**が見えます。3つの星は、**こと座**のベガ、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。大三角からさそり座・いて座にかけて、天の川が流れます。月のない梅雨の晴れ間には、思いのほかきれいに星が見えます。木星のそばの**てんびん座**、ベガの右上の**ヘルクレス座**や南東の空の**へびつかい座**と**へび座**なども探してみましょう。